VOICE TRACER

VTR7600





VTR7600 説	明書	/ User Manual	
 日本語	01	English	77



÷		- **
Ъ	5	U

	【録音 / 音楽ファイルの再生】	P.26
P.01	表示画面の説明	P.26~
P.01~	基本操作	P.28~
P.04 ~	ファイルの削除	P.31
P.05 ~	音楽ファイルの取り込み方法	P.32
P.07	フォルダ構造	P.33
P.08	【再生設定】	P34 ~
P.10 ~	リピート設定	P35
P.14		P36
P.17	再生速度	P38
P.17	イコライザー	P39
P.18	【お知らせ】	P40~
P.19	基本操作	P40~
P.20	【ラジオ】	P43~
P.21	ーー・	P43 ~
P.22		P49
P.22	【テレビ】	P50 ~
P.23	ご家庭のテレビと充電スタンドを接続する	P50 ~
る P.24	本体の設定をする	P51 ~
	P.01 P.01 ~ P.04 ~ P.05 ~ P.07 P.08 P.10 ~ P.14 P.17 P.14 P.17 P.17 P.18 P.19 P.20 P.20 P.21 P.22 P.22 P.22 P.23 ~ ~	【録音 / 音楽ファイルの再生】P.01表示画面の説明P.01~基本操作P.04~ファイルの削除P.05~音楽ファイルの取り込み方法P.07フォルダ構造P.08【再生設定】P.10~リピート設定P.14A-B 間リピートP.17再生速度P.17イコライザーP.18【お知らせ】P.20[ラジオ】P.21FM ラジオを聴くP.22FM ラジオを録音するP.23ご家庭のテレビと充電スタンドを接続する*3 P.24本体の設定をする

【SOS 機能】	P53
【システム設定】	P54 ~
バックライト設定	P56
言語	P57
コントラスト	P57
録音 LED	P58
操作音	P58
日付/日時	P59~
情報	P61 ~
メモリ初期化	P62~
左右バランス	P63
録音設定	P64 $\sim$
設定リセット	P69
【故障かも…と思ったら】	P70 ~
【アフターサービス】	P72
【お問合せ / 修理受付窓口】	P73
【製品仕様】	P74

# 【ご使用の前に】

・使用中に発生した不慮のデータロスに関しては、当社は一切責任を持ちません。重要な録音 データはバックアップを取るなどの処理をお願い致します。

・長期間使用しない場合、バッテリーが完全に放電し充電出来なくなる場合があります。本機を 長期間使用しない場合でも半年ごとに 3/4 程度まで充電するようにしてください。

# 【安全上のご注意】





## 絵記号の意味





【安全上のご注意】

さい。

# 【付属品】



本製品をお使いになる前に、付属品を確認してください。万が一不足している物や破損してい るものがある場合は、お買上げ店又は弊社サポートセンターまでご連絡下さい。

PHILIPS 充電スタンド ポーチ イヤホン ストラップ = PHILIPS テレビ入力 AC イヤーピース 取扱説明書 かんたん ケーブル アダプタ ケーブル S·M·L /保証書 ガイド

充雷

# 【本体各部名称】

【本体各部名称】



# 【充電スタンド各部名称】

# 【イヤホンの使用方法】







イヤホンを使用する際は**聞き方スイッ** チを下方向 (イヤホン側) へ切り替え てください。

## 外付けイヤホンを使用する場合

付属イヤホンやお手持ちのイヤホンを本体側面の**イヤホンジャック**へ挿しこみご使用ください。



# 【イヤホンの使用方法】

# 【充電をする】



伸縮イヤホンを使用する場合

本体背面の伸縮イヤホンを引き出してご使用ください。

2 ご使用後は伸縮イヤホン収納ボタンを内側へ押すと、コードが本機の中へ収納されます。

※伸縮イヤホンを強く引っ張らないで下 さい。故障の原因となります。
※収納ボタンを押すとイヤホンは勢いよ く収納されますのでご注意ください。
※伸縮イヤホンは使い方により大きく寿 命が変化します。また、常時利用を目 的としておりません。初期不良以外、 修理は有償となりますのでご注意くだ さい。



## ご使用前に本製品の充電を行ってください。

本機をケーブルに繋いで充電する

本体側面の**充電端子** (MicroUSB端 子)に付属の充電ケーブルの MicroUSBプラグ側を挿します。

# パソコンで充電する場合

起動したパソコンのUSBポートに、 ケーブルのUSBプラグ側を挿しま す。充電が開始されるとLEDラン プがオレンジ色に点灯します。液 晶画面上に「PHILIPS」ロゴが表 示され、アイコン Ⅲ の電池残量 が増減をします。



【充電をする】

【充電をする】



【充電をする】

【電源のオン/オフ】

3 本機を充電スタンドに設置すると 充電が開始します。充電中のLEDラ ンプ表示は以下のようになります。

	充電中	満充電
本体LEDランプ	オレンジ 点灯	消灯
充電スタンド充電ランプ	赤色点灯	緑色点灯





# 【電源のオン / オフ】

## メインメニューについて

1 電源がオンの状態で集音ボタン以外のボタンを短押しするとメインメニューを表示します。

2 メインメニューにはP16の表に記載の6つがあり、I◀◀/▶▶Iボタンを押すとメニューが移動し、
 ▶II ボタンで決定をします。それぞれのメニューの詳しい説明は各ページをご覧ください。





※集音ボタンを押すと集音モー ドに入ります。詳しくは右記表 の「クイック操作」欄をご覧下 さい。

※お知らせボタン、TVボタン、FM ラジオボタンを長押しすると それぞれのモードへ移動しま す。詳しくは右記表の「クイッ ク操作」欄をご覧下さい。 【電源のオン / オフ】



※本機を使用する前に、現在日時の設定(P59)をおすすめいたします。



## 表示画面の説明



# 基本操作

電源をオンにします(P14参照)

2 イヤホンジャックにイヤホンを挿し込みます。 ※スピーカーでの聴取はできません。









外付けイヤホン未接続の状態で集音ボタンを押すと、本機がハウリングしてピーという高音のノイズが発生します。必ず外付けイヤホンを装着した状態で集音を開始してください。





## 集音音量を調整する

集音をしている状態で、**音量ダイヤル**を 回してお好みの音量に調整します。



本機が衣服に擦れて生じるカサカサ音 はどうしても聴こえます。マイク感度を 下げる事で軽減されますので、システム 設定、マイク感度P65を参考に調整くだ さい。





## 左右の音量バランスを調整する



集音をしている状態で**▶Ⅱ ボタン**を 押します。





3 左右の音量バーが表示されます。 音量ダイヤルにてバランスを調整 し、I◀◀/▶▶Iボタンで左右を切 り換えます。







**4** ▶ II ボタンを押すと、設定を保存 し集音画面に戻ります。



▲マークが点滅しているバーが調整可能です。 点滅していない場合は I◀◀/▶▶Iボタンを押し てください。

# 集音中の録音

集音中に**録音スイッチ**をスライド すると、集音しながら録音を開始 します。

2 録音を終了すると、集音モードに 戻ります。



## 表示画面の説明





AL

# 【音声録音】

## 保存するフォルダを指定して録音する

- メインメニューで「**ファイル**」を選択 し**▶Ⅱ ボタン**を押して決定します。
- 2 「録音」「音楽」と表示されま す。 I◀◀/▶▶Iボタンで「録音」 にカーソルを合わせて▶IIボタ ンを押します。





【音声録音】

【録音 / 音楽ファイルの再生】

日本語

3 フォルダ選択画面が表示されます。保存したいフォルダをAフォルダ~Dフォルダの中から選択をし、 ▶IIボタンを押して決定します。



4 録音スイッチを上方向へスライ ドすると録音が開始します。

)録音を終了するには、録音ス イッチを下方向へスライドしま す。録音が終了し、工程3で指定 したフォルダに音声ファイルが 保存されます。 表示画面の説明 録音ファイル再生画面



表示画面の説明 音楽ファイル再生画面



# 【録音 / 音楽ファイルの再生】

# 基本操作

メインメニューで「**ファイル**」を選択 し**▶Ⅱボタン**を押して決定します。







# 【録音 / 音楽ファイルの再生】

基本操作 録音ファイルを再生する場合

基本操作 音楽ファイルを再生する場合

▲ </ >
</ >
● ボタンで再生するファ

イルを選択し、▶Ⅱボタンを押し

**2 ▶II ボタン**を押すと再生を開始し

て決定します。

ます。

|◀◀/▶▶|ボタンで再生するフォ ルダを選択し、▶Ⅱボタンを押し て決定します。

**2** (<//>
) イルを選択します。

▶ II ボタンを押すと再生を開始し ます。





►II



【再生中に可能な本機の動作】

	短押し	次のファイルへ移動
	長押し	早送り
トレポタン	短押し	前のファイルへ移動
	長押し	早戻し
	短押し	停止
■停止小ツノ	長押し	フォルダ切換【録音再生時のみ】
辛島はイカル	回す	音量調整
	長押し	再生設定へ移動→P34

# 【録音 / 音楽ファイルの再生】

## ファイルの削除



ファイルを選択し、再生を停止します。

**2 音量ダイヤルを2~3** 秒間長押しします。



Yesを選択し、 ▶ II ボタンを 押すとファイルを削除します。 Noを選択するとファイルの削 除が中止されます。

【削除内容】

主テ	<b></b> 動作
<u>我</u> 小	里//1 F
ファイル削除	選択中のファイルを削 除します
全て削除	選択中のフォルダ内全て のファイルを削除します

## 音楽ファイルの取り込み方法



※音楽データの作成方法は、ご使用の パソコンやソフトにより変わります。 ご使用のパソコン・ソフトメーカーに ご確認下さい。

# 2 本機の「AUDIO」フォルダに音 楽ファイルを入れます。

※AUDIOフォルダ内の階層は認識しません。必 ずAUDIOフォルダ直下に入れてください。



付属のUSBケーブルを使用して、起 動したパソコンのUSBポートに本機 を接続します。

【再生設定】

## フォルダ構造

Windowsファイルエクスプローラーで表示される本機 のフォルダ構造を事例として以下に示します。 録音されたファイルは「VOICE」フォルダ内の「A」「B」 「C」「D」いずれか(P24録音時に指定したフォルダ 内)に保存されています。音楽ファイルは「AUDIO」 フォルダ内にコピーをしてください。



注意

でください。 ※「VOICE」および「AUDIO」 フォルダ名変更は行わないで ください。

※ボリュームラベル名「VTR7600」の名前変更は行わない

※AUDIOフォルダ内の階層は認識しません。音楽ファイル は必ず直接「AUDIO」フォルダ直下に入れてください。



録音ファイルや音楽ファイル再生時の設定を行います。

ファイル再生中に音量ダイヤルを 長押しすると、再生設定メニュー が表示されます。

2 ►</br>

2 ►
►

ルで設定するメニューを選択し、

►

■

ボタンで決定します。



4 設定画面を終了するには■ボタン を押してください。

モード	動作	動作						詳細
リピート	ノーマル フォルダ内リピート 1曲リピート ランダム						P35	
A-B間リピート							P36	
再生速度	-8~+8						P38	
イコライザー ※音楽再生のみ	ノーマル	ロック	ポップ	ソフト	クラシック	ジャズ	DBB	P39

【再生設定】





ファイル再生時のリピート設定を行い ます。



下記の4つから選択し、▶Ⅱボタンで 決定します

モード	動作
ノーマル	フォルダ内全てのファイルを順番に 再生し、最後のファイル再生が終わ ると再生を停止します。
フォルダ内リピート	フォルダ内全てのファイルを順番に 繰り返し再生します。
ー曲リピート	1つのファイルを繰り返し再生します。
ランダム	フォルダ内のファイルをランダムに 繰り返し再生します。

## A-B間リピート

指定したA点とB点の区間を繰り返し再 生します。



ファイル再生中に、再生メ ニューで「**A-B間リピート**」を 選択します。





【再生設定】



3 リピート再生を開始したい地 点(A)でⅠ◀◀ボタンを短く押し ます。Bが点滅した状態となり ます。



5 A-B間再生を終了するには、I◀◀ /▶▶Iボタンを短く押すか、▶IIボ タンを押します。

・5回繰り返しを行うと自動的に通 常再生に戻ります。

 ·A-B間再生中は ご アイコンが点 滅します。 再生速度

ファイルの再生速度を設定します。

再生メニューで「**再生速度**」を 選択します。



2 音量ダイヤルで再生速度を設定 し、▶IIボタンを押すと設定が 完了します。

・-8~+8の間で設定が可能です。

4 ▲ ● ボタンを短く押して再生 終了地点(B)を決定します。 A-B間再生が開始します。

37

【再生設定】

【お知らせ】

## イコライザー(音楽再生のみ)

お好みの音質に設定します。

/ーマル

ロック

ポップ

戻る



イコライザー設定が出来るのは音楽 再生モードのみです

決定

- 再生メニューで「**イコライザー**」 を選択します。
- 2 音量ダイヤルもしくは I◀◀/▶▶I ボタンでお好みのモードを選択し、 ▶IIボタンを押すと設定が完了しま す。

下記の7つから選択し、▶Ⅱボタンで 決定します

モード					
ノーマル		]ック	ポッフ	r	ソフト
クラシック	,	ジャ	ズ		DBB

## 録音した音声を指定した時刻に再生します。



電源オンの状態で 2 ボタンを 長押します(約2秒間)。 もしくは、メインメニューで 「お知らせ」を選択して▶Ⅱボタ ンを押します。





【お知らせ】

【お知らせ】

2 お知らせを再生する時刻と繰り 返す回数を設定します。音量ダイ ヤルで数字の変更を行い、項目 の変更は I◀◀/▶▶Iで行います。

4 お知らせの音声録音をします。 "お知らせ録音を開始しますか?" の画面で▶Ⅱボタンを押すと録 音がスタートします。

お知らせを解除したい場合はBフォル ダからファイルの削除を行ってください(P31参照)

■ボタンを押すと元の画面に戻ります。

6 お知らせの設定が完了しました。

※「お知らせ」録音ファイルは再生完了後 も削除されません。フォルダ内には99 ファイルまで保存可能ですが、不要な ファイルはお客様ご自身で削除ください。 ★以下の設定も可能です★
 毎日同じ時刻にお知らせする…
 「月」「日」の項目を"N"に設定します。

- 1か月間毎日同じ時刻にお知らせをする
   …「日」の項目を"N"に設定します。
- 毎月、同じ日時にお知らせをする…
   「月」の項目を"N"に設定します。
- スヌーズ (本機を止めるまで繰り返します)…「回」
   の項目を"N"に設定します。

3 ▶IIボタンを押して決定します。 ・現在よりも前の日時は設定できません。

5 ■ボタンを押すと音声録音が終了し、保存されます。

 ・録音された音声は、Bフォルダ (P33参照)にREM×××のファイ ル名で保存されます。

※外付けイヤホンがアンテナとなり ます。ご使用前にイヤホンジャッ クに付属のイヤホン又はお手持ち のイヤホンを接続して下さい。※スピーカーからラジオを聴く場合 も、外付けイヤホンを接続してく ださい。

※FM放送 (76MHz~108MHz) のみ 受信可能です。

## FMラジオを聴く

**外付けイヤホン**を挿した状態に します。

## 2 → ボタンを長押し(約2秒間) するか、メインメニューから「ラ ジオ」を選択しトⅡボタンを押し ます。



3 ▶IIボタンを押してスキャン(選局)方法を選びます。スキャンの方法についてはP44~46をご覧ください。



自動で受信可能な放送局を探し(ス キャンし)選局されたチャンネルを 保存をします。





2 "自動選局?"の画面でYesを選択 し、▶Ⅱボタンを押すと「選局中」 と表示されスキャンが開始します。

【ラジオ】



3 スキャンが終わると自動保存され、選局した放送局が一覧で表示されます。



4 I◀◀/▶▶Iボタンで放送局を選び、▶II ボタンを押すとラジオ再 生画面に移動します。

# FMラジオを聴く 手動選局 \_\_\_\_\_

手動で受信可能な放送局を選局し、 チャンネル保存をします。 ・1~40までの局を登録できます。



## **I◀◀/▶▶Iボタン**で"**手動選局**"を 選択し、**▶IIボタン**を押します。







4 登録済の放送局一覧が表示されます。放送局を登録する空きチャンネルを音量ダイヤル又はは
◄◀/▶▶Iボタンで選択し、▶II
ボタンを押します。

5 "保存しますか?"の画面でYesを 選択すると、チャンネル保存され ます。

【ラジオ】

**2 I4/▶I***i***iiy2**<sup>°</sup><sup>°</sup><sup>°</sup><sup>°</sup>

3 "全削除"と表示されます。Yesを

4 登録した放送局が全て削除され

·Noを選ぶと削除が中止します。

ます。

選択し、**▶Ⅱ ボタン**を押します。

選択し、▶Ⅱボタンを押します。

FMラジオを聴く

全局削除

チャンネル登録した放送局を全局削

FMラジオ受信画面で**▶Ⅱボタン** を押してラジオメニューを表示し

決定

除します。

ます。

手動選局

削除

戻る

全削除



# 【テレビ】<sub>|</sub>

## FMラジオを録音する

FMラジオ聴取中に、**録音スイッチ** を上方向にスライドします。



2 ラジオの録音が開始します。録音 を終了する場合は録音スイッチを 下方向にスライドします。

3 録音データはBフォルダに REMXXXのファイル名で保存されます。録音データの再生方法は P28【録音/音楽ファイルの再生】 をご覧ください。



ご家庭のテレビと充電スタンドを接続する

**し** テレビ 充電ケーブル

÷

**充電スタンド**の**充電端子**とお手 持ちのACアダプタを付属の充電 ケーブルでつなぎます。

Ĩ

テレビ入力ケーブル

COLUMN HAVE

テレビ



 3 充電スタンドのテレビ入力端子と テレビのヘッドホン端子を付属の テレビ入力ケーブルでつなぎます。
 4 充電スタンドの電源スイッチを入 にします。

0 0

0 0

USB充電対応ACアダプタ

5 テレビの電源を入れます。

6 続いて本体の設定を行います。



ヘッドホンとスピーカーの併用が出 来ないテレビの場合、テレビのス ピーカーから音が出なくなります。 どちらからも音声が出る機能が搭 載されたテレビの場合、どちらから も音声が出ます。詳しくはご家庭の テレビの取扱説明書をご確認くだ さい。 ▲ 付属のイヤホン又はお手持ちのイ ヤホンをイヤホンジャックに接続 する。

本体の設定をする









4 本機側面の間き方スイッチを お好みの方向へ切り替えます。

5 テレビ音声の録音はFM放送の録音と同じです。P49を参照ください。



【SOS 機能】

# 【システム設定】

SOSアラームを鳴らします。





SOSボタンを長押しすると、大音量の アラームが鳴ります。



メインメニューから「**設定**」を 選択します。



3 音量ダイヤル又は I ◀◀/▶▶I ボ タンでモードの切り換えを行い ます。

4 ▶IIボタンを押すと設定が完了し、 設定メニューー覧に戻ります。

2 音量ダイヤル又はI◀◀/▶▶I ボ タンで設定メニューを選択し、 ▶IIボタンを押します。

# 【システム設定】

### 【設定メニュー/モード一覧】

設定メニュー	モード							詳細
バックライト	15秒	30秒		45秒		常時		P56
言語	日本語	English		簡体中文		繁體中文		P57
コントラスト	0~11							P57
録音LED	オン				オフ			P58
操作音	オン			オフ			P58	
日付/時間	時計設定日付			付	設定時間設定			P59~61
情報	メモリ情報				ファーム	ファームバージョン		
メモリ初期化	Yes No					P62		
左右バランス	_				P63			
録音設定	マイク感度	夏 録音シーン		ン VA録音		分割録音	P64~68	
設定リセット	Yes				No			P69

## バックライト設定

ー定時間本機を使用しない場合に、 液晶画面のバックライトが消灯するま での時間を設定します。

・消灯中も動作は継続します。



下記の4つから選択し、▶**Ⅱボタン** で決定します

モード	動作
15秒	無操作の場合 15 秒後に消灯します。
30秒	無操作の場合 30 秒後に消灯します。
45秒	無操作の場合 45 秒後に消灯します。
常時	バックライトを常時オンにします。

【システム設定】



#### 下記のモードから選択を行い、▶**Ⅱボタン**を押すと決定します。

モード	動作
日本語	日本語で表示します
English	英語で表示します
簡体中文	簡体中国語で表示します
繁體中文	繁體中国語で表示します

0~11の間で設定が可能です。音量ダ イヤルでコントラストを選択し、▶Ⅱ ボ タンを押すと決定します。

オフ

録音時、LED ライトを消灯します



オフ

操作音をオフにします

【システム設定】

日付/時間本機の日時設定を行います。

音量ダイヤル又は I ◀◀/ ▶▶I ボタン で、時計設定、日付設定、時間設定の 中から設定する項目を選択し、▶II ボ タンをします。

・時計設定…時計の表示方法設定
 します
 ・日付設定…現在の日付を設定します
 ・時間設定…現在時刻を設定します

日付/時間	
時計設定	
時計表示方法を設定します。	
12時間 24時間	
戻る    決定	
下記のモードから選択を行い、▶Ⅱボ ンを押すと決定します。	タ

モード	動作
12時間	時刻を12時制で表示します
24時間	時刻を24時制で表示します



音量ダイヤルで西暦を設定し、 ▶▶Iボタンで「月」設定に移り ます。

2 音量ダイヤルで西暦を設定し、 ▶▶Iボタンで「日」設定に移り ます。

**3 ▶ II ボタン**で設定を決定します。





**1 音量ダイヤル**で時間を設定し、▶▶ ボタンで「分」設定に移ります。

**2** ▶ II ボタンで設定を完了します。

**音量ダイヤル**又は **|**◀◀/▶▶**| ボタン** で、メモリ総容量、メモリ空き容量か ら設定する項目を選択し、▶**|| ボタン** をします。

情報	
メモリ情報	
<b>メモリ総容量</b> ・・・・本機のメモリ容量 を表示します	
<b>メモリ空き容量</b> …本機のメモリ空き 容量を表示します	-

### メモリ初期化

本体メモリの初期化をし、ご購入時の 状態に戻します。保存中のデータは全 て消去されます。

## 下記のモードから選択を行い、▶**Ⅱボタ** ンを押すと決定します。

モード	動作
Yes	メモリを初期化します
No	前の画面に戻ります

ファームウエアのバージョンを表示し ます。

情報 ファームバージョン

# 【システム設定】

### 左右バランス

外付けイヤホンを使用した場合の左 右の音声バランスを調節します。



【 I◀◀/▶▶Iボタンを押すと、左 右どちらかの▲マークが点滅し ます。音量ダイヤルで音量を調 整します。

2 I◀◀/▶▶Iボタンを押すともう 片側の▲マークが点滅し、調整 が可能です。

3 ▶Ⅱボタンを押すと設定を保存します。



## 録音設定

録音時の本機の設定を行います。

音量ダイヤル又は I◀◀/▶▶I ボタン で、設定する項目を選択し、▶II ボタ ンを押します。

モード	動作
マイク感度	マイク感度を設定します
録音シーン	録音される音声の品質設定を行い ます
VA録音	音声に反応して自動で録音の開始 / 一時停止を行います
分割録音	録音中、設定した時間毎にファイル 保存をします





マイク感度を設定します



下記のモードから選択を行い、▶Ⅱ ボタンを押すと決定します。

モード	動作
感度1	感度が低い設定です
感度 2	感度が中低設定です
感度 3	感度が中高設定です
感度 4	感度が高い設定です

録音される音声の音質設定を行います

録音設定

録音シーン



下記のモードから選択を行い、▶Ⅱ ボタンを押すと決定します。

モード	動作
高音質	高音質で録音します
会議	会議中の録音に適しています
屋外	屋外での録音に適しています
標準	標準的な音質で録音します
長時間	長時間録音に適しています

【システム設定】



音声に反応して自動で録音の開始/ 一時停止を行います。



下記のモードから選択を行い、▶Ⅱ ボタンを押すと決定します。

モード	動作
オン	VA 録音をオンにします
オフ	VA 録音をオフにします

録音中、設定した時間毎にファイル 保存をします。保存後も録音はその まま続き、別ファイルとして保存され ます。

録音設定

分割録音



下記のモードから選択を行い、▶Ⅱボ タンを押すと決定します。

モード	動作
オフ	分割録音オフ
30分	30分毎に分割して録音を行います
60分	60分毎に分割して録音を行います



## 設定リセット

設定した項目を全てリセットします。

録音
 除さ
 お

録音ファイル・音楽ファイルは削 除されません。

下記のモードから選択を行い、	▶Ⅱボ
<b>タン</b> を押すと決定します。	

モード	動作
Yes	設定をリセットします
No	リセットを中止します

電源が入らない すぐに電源が切れてしまう	・充電不足の可能性があります。本機の充電を行ってください。
動作しない	・ボタンがホールド(ロック)されていませんか?ボタンを押した際にホールドマークが表示 されるとホールドされています。スイッチを切り換えてホールドを解除してください。
フリーズしてしまった ボタン操作できない	・「再生・一時停止」 ボタンを8秒程長押ししてください。 一度電源がオフとなります。
パソコンに認識されない	・接触不良の可能性があります。ケーブルを抜いて再度しっかりと挿入してください。 ・同梱のMicro USBケーブルを使用していない場合、同梱のケーブルをご使用ください。
音楽ファイルが 再生されない	・対応以外の音楽フォーマットは再生できません。 ・「著作権あり」設定がされた音楽ファイルは再生できません。 ・本機はフォルダを認識しません。必ず本機の「AUDIO」フォルダ直下へ入れてください。
音が出ない	・音量がゼロになっていませんか? ・聞き方スイッチを切り換えていますか? ・イヤホンを使用している場合、端子がしっかりと挿されているかご確認ください。



# 【故障かも…と思ったら】

【アフターサービス】

日本調

テレビモードでテレビの 音が聞こえない	<ul> <li>・テレビの音量が小さい場合があります。音量を上げてご確認ください。</li> <li>・充電スタンドのAUXケーブルがテレビとしっかりと接続されているかご確認ください。</li> <li>・ノイズで音声が聞こえない場合は充電スタンドの設置場所を変更すると改善することがあります。</li> </ul>
集音できない	・音量がゼロになっていませんか?
ラジオが受信できない	・本機はイヤホンがアンテナとなります。付属のイヤホン又はお手持ちのイヤホンを接続して ご使用ください。
集音モードで 高音のノイズが発生する	<ul> <li>・ハウリングを起こしています。伸縮イヤホンを伸ばさない状態で集音ボタンを押すとハウリングします。外付けイヤホンを接続してご使用ください。</li> <li>・音量を下げてご使用ください。</li> </ul>

修理を依頼される前に☞P70ページの「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。 確認しても症状が改善されない場合は、お買上げ店または弊社カスタマーサポートにご相談ください。

### ■保証書を必ずご確認ください ※本機を分解すると、保証が無効になります。

保証書については、必ず「お買上げ日」と「正規販売店名」の記入があることを確かめてからお買上げ店よりお受け取りください。また、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はご購入日から1年間です。

弊社では、お客様からの「製品の使い方や仕様に関するご質問」「有償修理のご依頼」には対応しておりますが、保 証期間内での「返品・交換・無償修理」は正規販売店経由でのみ行なっております。返品などをご希望の方は、ご購 入された販売店までお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

### ■修理をご依頼される場合

修理を依頼される前に☞P70ページの「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。 それでも症状が改善されない場合は、まず電源プラグを抜いてお買上げ店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。 ※保証期間やは保証書の規定に従って、修理させていただきます。 ※保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる場合、ご希望により有償修理させていただきます。

### ■修理をご依頼されるときにご準備いただきたい内容

●お客様の氏名 / 住所 / 電話番号
 ●製品名 / 型番 / お買上げ日 / お買上げ店
 ●故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

# 【お問い合わせ/修理受付窓口】

# 【製品仕様】

### カスタマーサポート

(平日10:00~12:00 /13:00~17:00)

# 20570-020-511

EX-JV Philips.icrecorder@stayer.co.jp

HP http://www.stayer.co.jp

#### 〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地2 TRビル6F

Speech Processing Solutions GmbH. Gutheil-Schoder-Gasse 8-12, 1100 Vienna, Austria JINGWAH DIGITAL TECHNOLOGY CO.,LTD

インターフェイス		重量·寸法					
液晶ディスプレイ 128×64 ドットディスプレイ		重量(約) 88g					
マイクロホン	コンデンサーマイク 内蔵2個	寸法(約)	高さ98×	高さ98×幅55×奥行き15 (mm)			
スピーカー	φ32mm 1W	録音仕様					
イヤホン	φ3.5mm STEREO出力	연호도 년	高音質	会議	屋外	標準	長時間
	内蔵、伸縮イヤホン	球目モート	PCM	HQ	NC	SP	SLP
USB	USB2.0 (microUSB)	録音可能時間(max)	12H	97H	48H	291H	2330H
内蔵メモリ容量	8GB	フォーマット	WAV	MP3	WAV	MP3	MP3
内蔵電池	750mAh リチウムイオン電池	STEREO/MONO	STEREO	STEREO	MONO	MONO	MONO
充電時間(約)	3時間	サンプリング周波数	48kHz	32kHz	12kHz	16kHz	8kHz
機能		ビットレート	1536kbps	192kbps	64kbps	64kbps	8kbps
集音器	高感度集音性能	集音機能特性他					
録音·再生機能	音声、FMラジオ、テレビ音声	- 90dB入力最大出力音圧レベル(dB) 1Z0dB					
お知らせ機能	録音した音声を指定した時刻に再生	OSPL90(HFA-OSPL90DB)					
FMラジオ	76MHz~108MHz	最大音響利得 HFA (dB) 69dB					
テレビ音声到達距離	約7m (障害物なきこと)	周波数範囲(Hz) 300~5000Hz					
SOSブザー	ワンプッシュSOSブザー	総高調波歪み(THD)(%) 0.80%					
音楽再生可能フォーマット	MP3, WAV	等価入力ノイズ(EIN) (dB) 28dB					
連続使用時間(約)	20時間(集音時 音量7)	定格電源電流消費 (mA) 25mA					
システム・使用環境		内容物					
対応05	Windows7~10,XP,Vista, 2000	本体、充電スタンド、	ポーチ、イ1	ヮホン、スト	・ラップ、充	電ケーブル	、ACアダ
Mac OS X10.5~10.10, Linux		プタ、テレビ入力ケーブル、イヤーピースS・M・L、取扱説明書/保証書(本					
言語	日本語、英語、中国(簡体)、中国(繁體)	書)、かんたんガイド					
使用環境 5℃~45℃ ※充電時間、連続使用時間はあくまでも目安であり、使用状況・環境によ- 10%~90% 結露なきこと 場合があります。※製品の色は印刷物なので実際の色とは異なる場合があり		って異なる ります。					

#### **カスタマーサポート** (平日 10:00~12:00 / 13:00~17:00)



 Eメール
 Philips.icrecorder@stayer.co.jp

 HP
 http://www.stayer.co.jp

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地2 TRビル6F

Speech Processing Solutions GmbH. Gutheil-Schoder-Gasse 8-12, 1100 Vienna, Austria JINGWAH DIGITAL TECHNOLOGY CO.,LTD

Content		10 TV Reception Mode	P.093
I Welcome	P.079	I I Radio Mode	P.096
2 Important	P.080	12 Voice Recording File Mode	P.098
3 Overview	P.082	13 Play Settings	P.100
4 Start to Use	P.083	14 Music Mode	P.103
5 Voice Recording Mode	P.085	I5 Play Mode	P.104
6 Hearing Aid Mode	P.087	16 System Settings	P.106
7 The Left and Right Balances Tuning	P.089	17 Button Lock	P.112
8 Reminder Mode	P.090	18 Connection to Computer	P.113
9 SOS Function	P.092	19 Charging Mode	P.114

20 Frequently Asked Questions	P.115
21 Technical Parameters	P.116

### Welcome

Welcome to the world of Philips! We are honored by your choice and purchase of Philips' products. You can have Philips' comprehensive technical supports from our website, e.g.user's manuals, software downloading and warranty information etc. www.philips.com

### 2 Important

#### Safety

- To avoid a short circuit, do not expose the product to rain or water.
- Do not expose the device to excessive heat caused by heating equipment or direct sunlight.
- Protect the cables from being pinched, particularly at plugs.

Attention! Before using the device, please read this User's Manual carefully. The company shall not be liable for any data loss due to erroneous operation or causes of a force majeure. Special attention should be given to correct operations and files back up.

#### Hearing safety

Observe the following guidelines when using your headphones:

- Adjust to suitable volume; do not use the earphones for a long time.
- Don't turn the volume up beyond your tolerance.
- Don't turn up the volume so high that you can't hear

what's around you.

- When in dangerous environment, please carefully use the earphones or stop using.
- Don't use the earphones when driving, cycling, and skateboarding so as to avoid traffic accidents and violating laws and regulations.

#### Product features

- One-touch Voice Recording: Just slide the Voice Recording button switch upward to start recording, switch it downward to save file.
- Digital noise reduction: Noise around the recording environment can be filtered effectively for clear recording. (This feature is recommended for noisy environments only)
- Hearing aid mode: The user may adjust the hearing aid volume and the right and left balance for optimal listening experience.
- Event reminder: Record a message to remind the time of an event and set the time to play. With this device in hand, you will never miss any important event.
- SOS function: In emergency, long press the SOS button and the device will give a loud alarm for help.
- TV audio reception: With the wireless transmission function of the docking station, the device can

independently receive TV audio signals.

- TV audio recording: The user may audio record his favorite TV programs on the device.
- FM radio: The user may listen to FM radio programs on the device.
- FM recording: The user may record FM radio programs on this device.
- Record in common MP3 and WAV formats.
- USB 2.0 high speed data access.
- · Voice-activated recording.
- USB mass storage, ensuring maximum compatibility.
- The built-in earphones are only used for emergency. Please use external headphones for normal condition.
- Due to the delicate nature of the built-in earphones, please operate as shown below:



3 Overview



8 Volume/Select
9 Record Button
10 TV Button
11 Upward/Downward Switch Button
12 Power On/Off Switch Button
13 Built-in Earphones
14 Built-in Earphone take-up
15 Earphone Jack
16 USB Socket
17 Charger Contact

 Except SOS, all the other functions stop working while recording.

Earphone/Loudspeaker Switch Button
 Exit Button
 Radio Button
 SOS Button
 Hearing Aid Button
 Play/Enter/Pause
 Message Button

## 4 Start to Use

#### Power on/off

When power is off, slide down and hold POWER on/off button for 2 to 3 seconds, the device will start and then displays "PHILIPS", as shown below. When power is on, slide down and hold POWER on/off button for 2 to 3 seconds, the device will display "PHILIPS", as shown below, and shut down.



After the device starts and displays "PHILIPS", the following interface of date and time will be shown as below:



There are six modules in the main menu, listed respectively in the following pictures: I. Hearing aid mode, 2. Folders,

3. Television mode, 4. Event reminder, 5. Radio mode, 6. Settings.













## 5 Voice Recording Mode

Before recording, set the function and recording type. Select the folder for file storing. When recording stops, long press"■"to select among folders of A, B, C and D to store the audio file.

- Each folder can keep 99 audio files at the maximum. The four folders can keep 396 files altogether. When a folder is full, the new file will be automatically saved in the next folder. When all folders are full, the device cannot record. Make sure to delete some files or transfer them before using the device to record again.
- While recording, short press Hearing Aid to turn on monitoring. Then short press it to turn it off.
- (1)Slide up "Record Button" to start recording. The record indicator will be on. Please Direct the built-in microphone to the source of the voice.

(2)Slide down "Record Button" to stop recording.

The recording interface is shown below.



Current file number
 Number of existing files
 Current folder
 Current file name
 Recording time
 Recording time
 Current progress bar
 Recording status
 Battery indicator
 Recording title

## Note

 When turning on monitoring while recording, please take out the built-in headphone to avoid any possible noise.

## \* Attention:

 When the low battery icon occurs, it means the battery is nearly empty and the system will automatically shut down. If the device is recording, the system will automatically save the recorded file then exit. If the device has low battery, please recharge promptly. The low battery icon is shown below.



### 6 Hearing Aid Mode

- In the main menu, short press"▲"or "➡"to select hearing aid mode. Then short press "▶|]" to enter.
- 2. In any other mode, short press "Hearing Aid" to enter into the hearing aid mode.
- Earphone: In the hearing aid mode, the user may also use built-in earphones or external earphones. When external earphones are not plugged in, the following icon will be shown.





- Without external earphones, the user may short press Hearing Aid to use built-in earphones. Long press Hearing Aid to turn off the built-in earphones. When external earphones are plugged in, built-in earphones will be turned off.
- In the hearing aid mode, only earphones are functional. The speaker will not function.
- 4. When earphones are plugged in, the user may adjust the right and left balance, as shown below:



Short press">||'to open the following interface. Do you confirm to enter LR Channel banlance? Exit Confirm Short press"▶||'to enter into the mode of the right and left balance tuning. Short press"■"to exit.
5. Hearing aid volume adjustment: Slide"Volume"up and down to adjust volume, as shown below:



6. In the hearing aid mode, slide up Record to start recording and slide it down to save and exit.

## \* Attention:

 Only earphones are functional when it comes to hearing aid mode, recording monitoring mode,TV reception mode, right and left balance mode. The speaker will stop functioning.

## 7 The Left and Right Balances Tuning

In the main menu,short press "★" or "★" to sellect settings. Short press "▶II" to enter into settings: Settings



Then,short press "≩" or tune "Volume" to select "Left and Right Balances Tuning". Short press "▶||" to enter. The interface of "Left and Right Balances Tuning" is shown below:



I. In the interface of "Left and Right Balances Tuning", short press ">" to select the left balance and the small triangle on the left balance will flash. Slide "Volume" up to increase volume and the triangle will move rightward. Slide it down to decrease volume and the triangle will move leftward. 2. In the interface of "Left and Right Balances Tuning", short press """ to select the right balance and the small triangle on the right balance will flash. Slide "Volume" up to increase volume and the triangle will move rightward. Slide it down to decrease volume and the triangle will move leftward.

## Attention:

Before tuning the left and right balances, the user need to plug in external earphones. Otherwise, the following window will pop us.

> Please plug your earphone in! Exit

## 8 Reminder Mode

 In the main menu, short press "★" or "★" to selecgt the reminder mode. Short press" "to enter:



2. In any other mode, long press"Reminder"to enter into the reminder mode:



 Time setting:Short press "▲" or "▲" to select the month, day, hour, minute and number. The position of the small triangle indicates the current option. After making the choice,tune "Volume" to set

# \* Attention

- When month and day are set as N, the message will play at the set time every day.
- When month is set as N, but day is not set as N, the message will play at the set time of the day every month.
- When month is not set as N, but day is set as N, the message will play at the set time every day of the month.
- When the number is set as N, the message, once played, will keep repeating.
- 4. When the set time is smaller or equal to the system time, the following interface will be shown as a reminder:

The time you set
is less or equal
to system time
please reset!
Confirm

The set time is smaller or equal to the system time, please reset

Short press "["]" to return to the reminder setting interface for resetting.

5. When time setting is complete, the following interface will be shown below:

89



Short press"■"to return to the time setting interface. Short prss"▶|"to enter the recording interface.

6. In the message recording interface, short press" "to save the recorded message and return to the message recording interface. The recorded message will be saved in Folder B by default. The message recording interface is shown below.



7. Message play: When the set time arrives, the device will automatically play the recorded message.



8. When the total number of messages set is more than 20, the following reminder interface will appear:

The numeber of remind id full, please delete part of the remind file. Confirm

9.Message delete: The user may enter into Folder B and delete the recorded message as he wishes. But note that once the message is deleted, the reminder will no longer function.

#### Attention:

 When message starts playing, any playback will be through the speaker no matter in the earphone mode or in the speaker mode. The volume remains fixed by default.

### 9 SOS Function

No matter in what mode, long press"SOS" and the device will enter into the SOS interface and send the alarm. Short press "■"to exit. The SOS interface is shown below:



## Attention:

- As SOS function is activated in emergency, the volume of the speaker will be at the maximum by default.
- When the device is shut down and locked, the SOS button does not function.

## 10 TV Reception Mode





2. In any other mode, long press "TV Shortcut"to enter into TV mode.



- 3. Channel selection: Press "★" or "★" to select a channel, press"→]" to confirm.
- 4. TV and recharge stand: TV reception depends on the transmission function of the recharge stand. The diagram of the recharge stand is shown below:

There is no choice of band for products released in Japan.

- The operation procedure is as follows:
  (1)Plug a USB cord into the USB socket as shown in Figure 4 and connect the other end with the charger( or TV)
  (2)Connect Line-in between audio input and TV audio output as shown in the figure.
- (3) Move the power switch of the recharge stand to on position as shown in Figure 1.
- ()4Keep the channel on the device the same as the channel on the recharge stand. When channel I is selected on the recharge stand, the same channel should also be selected on the device. Otherwise, the device cannot receive TV signals.



 When the device is connected with the docking station, the TV volume cannot be turned up to the maximum or the voice quality will be affected.



Tune the volume this way



Power switch of docking station
 Channel switch of docking station
 Audio input
 USB socket

TV Channel I interface is shown below :



TV Channel 2 interface is shown below :



5.TV recording: In the TV broadcast mode, slide up "Record" to enter into TV recording interface, slide it down to save the recorded file and return to TV mode. The TV recording interface is shown below.



## 🔆 Attention:

 In the TV reception mode, plug in external earphones or use built-in earphones to listen. The speaker will not function.

## II Radio Mode



2.In any other mode, long press "radio" to enter into radio interface.Please plug-in the headphone before listening the radio program.

Pls insert an external no headset as antenna		
87.5	MHZ	
Exit	Confirm	

#### Attention:

It is suggested that the plug-in headphone serves as FM antenna.

 Menu selection: In the radio mode, short press "▶||" to pop up the menu: auto search/manual search/delete station/delete all, as shown below:



4. Auto search: In the menu interface, short press "∑" or "∑" or tune "Volume" to select auto search. Short press"▶] "to confirm and the auto search will begin. All the found stations will be automatically saved on the list, as shown below.

01	FM	87.	8
02	FM	89.	8
03	FM	90.	7
Exi	ίt		Confirm

In this interface, short press ">||" to return to the radio mode:



- 5. After auto search, short press "**T**" or "**T**" to select a saved station.
- 6. Manual search: In the menu selection interface, short press "T" or "T or tune "Volume" to select manual search. Short press ">||" to confirm and the following manual search interface will DOD UD:



In the manual search interface, the user may tune "Volume" to change frequencies. Short press ">1" to save a station. In the save interface, short press "T" or "Volume"to select a number and then short press " $\triangleright$ " to confirm.



- In the TV reception mode, plug in external earphones or use built-in earphones to listen. The speaker will not function.
- 7. Delete stations: In the menu selection interface, short press " $\mathbf{\overline{A}}$ " or " $\mathbf{\overline{V}}$ " or tune "Volume" to select a station to delete. Short press ">" to confirm and the station list will pop up. Short press "♣" or "♥" or tune"Volume"to select stations to delete and short press "> " to confirm. If the user wishes to delete all stations, short press " to pop up the station list, then short press " $\mathbf{\overline{T}}$ " or " $\mathbf{\overline{T}}$ " to confirm.
- 8. Radio recording: In the radio mode: slide up "Record" to start radio recording and slide it down to save the audio file. The radio recording type will be HQ. The radio recording interface is shown below.



## 12 Voice Recording File Mode

In the main menu, you can use " $\mathbf{F}$ " and " $\mathbf{F}$ " to select the voice mode, and then short press ">" The play button to confirm and enter. Voice selection interface is shown below:



Use "**T**" and "**T**" to select VOICE or MUSIC, short press the Play button to enter the voice folder, use " $\mathbf{F}$ " and " $\mathbf{F}$ " to select A. B. C. D folders, ABCD folder selection interface is shown below:



Press the play button to enter the folder, use " $\mathbf{T}$ " and " $\mathbf{T}$ " to select play file, the file selection interface is shown below:



Then short press the play button to confirm and enter. The audio stop interface is shown below:





Current file number
 Number of existing files
 Current folder
 Current file name
 Current recording duration
 Remaining time
 Recording status
 Battery indicator
 Recording title

- Note

 In the stop status, press the stop button to switch among the four folders A, B, C, and D.

## **13** Play Settings

#### Voice playing

(1)In the stop recording mode of the recording file, press the "Stop" button to select the desired folder.

(2)Press "∑" or "∑" to select the file to be played.
(3)Press "Play" button to start playing, "Play" indicator is steady green.

(4)Turn the volume knob to adjust the volume.

(5)Press the "Stop" button to end the play. In the stop playing status, press "stop" again to return to the main menu.

(6)During the play, press the Play button to pause. The "Play" indicator flashes as green. Press the Play button again to resume the previous position.

(7)Long press the "∑" or "∑" button to rewind or fast forward the currently playing file.
(8)Switch to earphone mode and play via the earphone.
(9)Switch to speaker mode and play through the speaker.

#### **Play mode**

After selecting the recording file to be played, short press the play button to play. Long press the menu button while playing to pop up the following play menu: cycle mode, repeat mode,

variable speed play, delete files, delete all reference interfaces as follows:

# Repeat A-B Replay Variable Speed play Exit Confirm Delete file Delete all Exit Confirm

### (1)Cycle mode

As shown in the figure above, select the "Cyclic Mode" menu, press the Play button, you will enter the cycle mode selection menu, you can choose the cycle mode you need, the interface as shown below:

A list of function menus will pop up. Features include: mic sensitivity, recording quality settings, voice settings, and automatic segmentation. Related reference figures are shown below:

LR Channel balance

Recording settings

Confirm

Reset default

Mic consitivity

reference picture is as follows:

Exit

MILO DOMDIC		
Quality settings		
Voice activation		
Exit	Confirm	
0.11.		
Quality settings		
Voice activation		
Auto divide		
Exit	Confirm	



Sequence Repeat folder Repeat one Exit Confirm



Directory play: Play the files of the selected directory in seguence. After all the files in the current folder are played, the device stops playing automatically. Directory cycle: Play the files of the selected folder by

#### (2)Repeat mode

Select the "Replay Mode" menu in the play menu and press the Play button to enter the repeat mode. The interface as shown below:



For the detailed operation of A-B repetition, please refer to the A-B repetition operation part of the "Music Play" section.

### (3)Variable speed play

Enter the variable speed play menu, turn the menu knob to adjust the play speed, the adjustment range is -8 to +8, press the play button to confirm the play speed. Variable speed play reference interface as shown below:



### **Delete Files**

In the voice play stop interface, long press the menu button, the function menu will pop up: delete files, delete all.



Use " $\mathbf{I}$ " or " $\mathbf{I}$ " to select delete single file or all files; use "**↓**" or "**↓**" to select "confirm" to delete, "cancel" to keep file:press play button to confirm.

#### **Personalized settings**

You can make the following settings according to your preferences.

Under the settings menu, select the recording settings, the

### 14 Music Mode

Select the voice items from the main menu screen then, you can use the " $\overline{\bullet}$ " and " $\underline{\bullet}$ " to select the music module.



Select the MUSIC folder and press the Play button to enter this module. Music play reference interface as shown below:





Current file
 Constant file
 Constant

## 15 Play Mode

You can use " $\mathbf{X}$ " and " $\mathbf{Y}$ " to select the song you want to hear and press the play button to play it. Press the menu knob for a long time during playback to pop up the following play menu: cycle mode, repeat mode, variable speed play, equalizer, delete files, delete all files. The reference screen is as shown below:

Repeat		
А-В Кер	lay	
Variable	Speed	Playbac
Exit		Confir

A-B Replay Variable Speed Playback Equalizer Exit Confirm

### (1)Cycle mode

When one of the menus is selected, the corresponding area will turn white. As shown in the figure above, select the "Cyclic Mode" menu, press the Play button, you will enter the cycle mode selection menu, you can choose the cycle mode.

Sequen	ce
Repeat	folder
Repeat	one
Exit	Confirm



Sequential play: Play files of the selected directory in sequence. After all the files in the current directory have been played once, the play will stop automatically. All cycle: Play the files of the selected directory through loops.

Single cycle: The selected track file is continuously played. Random play: Randomly play the file of the currently selected directory.

#### (2)Sound mode

Select the "Equalizer" menu in the play menu list, and then press the play button to enter the sound effect mode. The sound effect mode includes the following sound effects: "natural, rock, pop, classical, soft, jazz, heavy bass". The reference interface is as shown in the figure below:







In the sound mode, you can use the " $\mathbf{x}$ " or " $\mathbf{y}$ " to select the corresponding mode and press the play button to confirm.

#### (3)Repeat mode

Select the "Replay Mode" menu in the play menu, then press the Play button to enter the repeat mode.

## (4)Set AB repeat

- Set the starting point for repeat: In the playing state, long press the "Menu" button to enter the play menu, then press "▲" or "▲" to select the "Replay Mode" option, and then press "Play" button to confirm and return to play. State, but at this moment, the "A" of "AB" in the LCD screen is flashing, waiting to confirm the starting point of repetition A, and short press "▲" to confirm the repetition starting point A.
- Set the repeat end point: After setting the repeat start point A, B of the "A-B" on the LCD screen will flash. Press
- the " $\checkmark$ " key again to set the repeat ending point B. At this time, the LCD will display "A-B". When the repeat icon is fixed "AB", repeat play between AB points is started. After the number of repetitions reaches 5, the "A" in the "AB" icon blinks, waiting for the determination of the starting point A. At this time, the play returns to normal play, if no longer needed. To set a repeat, exit the repeat mode by the following method.
- Cancel Repeat: Short press "Play" to cancel the previous setting AB and pause it. Short press the "Stop" buttonto cancel the previous setting AB and stop the play. Long press "Menu" key to cancel the previous setting AB repeat and return to normal play status.

## 16 System Settings

Under the main menu, select the system setting mode, and then press the menu key to enter the system setting interface. The system setting interface related reference figures are shown below, including: backlight time, language selection, contrast adjustment, shutdown setting, recording indicator, device sound, system time setting, information, format memory, left and right sound channel balance, recording settings and reset.







LR Channel balance Recording settings Reset default Exit Confirm

### (1)Backlight time

Backlight time is available in five durations: 15 seconds, 30 seconds, 45 seconds, and constant light (0 seconds). If you do not perform any operation on the device within the set time, the backlight will automatically turn off. If you select constant light, the backlight will remain lit. The backlight setting reference figure is as follows:





### (2)Language

In the language selection menu, you can select a language as the system language. The language selection reference interface is as follows:



#### (3)Contrast adjustment

<u> </u>	
lontrast	level
Exit	Confirm

#### (4)Shutdown settings

If you do not perform any operation on the device within the set time, the system will automatically shut down. The

#### automatic shutdown settings reference interface is as follows:



### (5)Recording indicator

With this feature, you can turn on or off the recording indicator. The reference figure is as follows:



### (6)Device sound

In the touch tone setting menu, you can choose to turn on or off the device sound. After turning off the device sound, the device sound will not work on any key operation. The reference figure is as follows:



### (7)System time setting

System time setting interface, the reference figure is as follows:



In this interface, you can set the system's current time and system time display format. Press the stop key to exit the current interface and return to the previous menu. For example: Select "Time Format" menu, the following reference interface will be displayed:



There are two-time display formats available for selection in this interface, namely 12-hour and 24-hour. The system defaults to the 24-hour clock

For example: Select the "Set Date" menu and the following reference screen will be displayed:



In this interface, adjust the menu knob with " $\mathbf{\overline{T}}$ " and " $\mathbf{\overline{T}}$ " to set the real time. Press "T" and "T to select the year, month and day; turn the menu knob to change the corresponding position value.

For example: Select "Set Time" menu, the following reference interface will be displayed:



In this interface, adjust the menu knob with " $\mathbf{A}$ " and " $\mathbf{Y}$ " to set the real time. Press " $\mathbf{A}$ " and " $\mathbf{Y}$ " to select hours and minutes; turn the menu knob to change the corresponding position value.

#### (8)Information

With this feature, you can view the disk information, firmware version information at any time. Press the Play button to confirm the information viewed. The reference figure is as follows:



For example: Select the "Disk Information" menu and you can check the total space and free space of the built-in memory at any time. The following reference screen will be displayed:



For example: Select the "Firmware Version" menu and you can check the software version of this device. The following reference screen will be displayed:

2018-01-01 Version: 1.0 Exit Confirm

#### (9)Formatting Device

With this function, you can choose whether to format the device's memory. The reference figure is as follows:



## (10)Recording Settings

#### Record type

In the function menu, select the "recording quality setting" menu, then press the play button to enter the recording type menu, and then press the play button to confirm the recording type. There are five recording types to choose from in the recording type menu: "PCM" recording, "noise reduction recording, stereo recording, standard recording, long-time recording". Related reference figures are as follows:





PCM recording: WAV format, bit rate is 1536kbps. Noise reduction recording: WAV format, bit rate is 384kbps. Stereo recording: MP3 format, bit rate is 192kbps. Standard recording: MP3 format, bit rate is 64kbps. Long-time recording: MP3 format, bit rate is 8kbps.

#### Mic sensitivity

In the function menu, select the "Mic sensitivity" menu. There are two types of sensitivity options available in the Mic Sensitivity menu: "Dictation" and "Voice Recognition" represent "high" gain recording and "low" gain recording respectively. Press the Play button to confirm the selection of Mic sensitivity. Select different sensitivity to achieve different recording effects.

#### Voice control setting

Once the voice control recording function is enabled, during the recording process, when the device detects a sound, the recorder automatically starts recording; when no sound is de-tected, the recorder will automatically pause recording after 3 seconds; when the sound is detected again, the recorder will automatically start recording again. The voice control settings reference screen is as follows:



#### Automatic segmentation

During the recording process, the auto-segmentation function automatically saves the recording file in segments every 30 or 60 minutes and automatically advances to the next file recording. The auto-segmentation function reference interface is shown in the following figure:



### (11)Restore Factory Settings

With this function, you can restore to the original factory setting. The interface is as follows:



## 17 Button Lock

(1)Push the power on button up to the locked position to lock all the buttons on the recorder except the record button and SOS button. After the "Lock icon" is briefly displayed on the screen, it disappears as shown below.



(2)To release the button lock, push the power on button down to the middle position.

### 18 Connection to Computer

The voice recorder can be used as a large-capacity USB storage device and can easily store, backup, and move files. You can use the USB cable to connect the recorder to the computer without installing the software. The recorder will automatically display as a removable device. PC connection icon is shown as below.



## - Note

 Do not disconnect the recorder from the computer while the document is being transfered in or out of the recorder.

## 19 Charging Mode

Please recharge when the battery indicator shows low battery. Place the device in the position as shown in the following picture.



- When recharging, make sure to connect the docking station with power.
- (2)When recharging, the indicator on the docking station will show red.
- (3)The red light will disappear when the device is fully charged.

\* Attention:

Don't leave the device too long on the recharging stand after being fully charged for protection of batteries.

### 20 Frequently Asked Questions

Here are answers to common questions that can help solve the simple problem of recording pens. If the problem still exists, consult your dealer or visit our official website: www. philips.com/support

#### Unable to start recorder

If the battery is exhausted, please charge it in time. Or slide the record button to stop recording.

#### Voice recorder cannot record

The maximum number of files allowed by the recorder or the recorder memory is full. Please delete some recordings or move them to an external storage device.

#### Voice recorder cannot play recordings

 The recorder may be in lock mode (HOLD). Push the power button down to the middle position.
 If the battery is exhausted, please charge it as soon as possible.

#### Voice recorder SOS function no sound

If the battery is exhausted, please charge it as soon as possible.

#### When unable to turn on or off the device:

Long press the play button for 8 seconds to reset the device.

## 21 Technical Parameters

#### Memory

#### Built-in storage

Reference recording time (8GB): about 2160 hours of longterm recording mode, 272 hours of standard recording mode, about 92 hours of stereo recording mode, about 48 hours of noise reduction recording mode, and about 10 hours of PCM recording mode.

Built-in memory type: NAND Flash Mobile Memory (PC): Yes

#### Size and weight

Width × Height × Depth:55×97.7×15(mm) Weight (with battery): 88g

#### **System Requirements**

Operating System: Windows 7/Vista/XP/2000, Mac OS X, Linux Interface: USB interface

#### Recording

PCM recording: Bit rate is 1536kbps, format is WAV NOISE CUT REC: Bit rate is 384kbps, format is WAV Stereo recording (HQ): Bit rate is192 kbps, format is WAV Standard recording (SP): Bit rate is 64kbps, format is MP3 Long-term recording (SLP): Bit rate is 8kbps, format is MP3

#### Hearing aid parameters:

Hearing aid performance parameters					
High Frequency Aveage (OSPL90DB)	High Frequency Averag Full-Range Sound Gain(db)	Frequency Response Range (Hz)	Total Harmonic Distortion(%)	Equivalent Input Noise (db)	Rated Supply Current Consumption (mA)
130	69	300~5000	0.80%	28	25

#### Distance for effective TV reception

The user needs to stay within ten meters from the recharching stand.

#### **Music file formats**

Supports MP3/WAV/WMA/AAC/APE/FLAC and OGG etc..

#### **Operating conditions**

Temperature: 5°–45°C Air humidity: 10% – 90%, non-condensing

Warranty card 质保书 year warranty 一年质保  $\checkmark$ Type: VTR7600 Serial nr: Date of purchase 购买日期 Dealer's name, address and signature 销售商名称、地址及签字 www.philips.com/welcome This document is printed on chlorine free produced paper Data subject to change without notice This product was brought to the market by Speech Processing Solutions GmbH or one of its affiliates, further referred to in this document as SPS, which is the manufacturer of the product. SPS is the warrantor in relation to the product with which this booklet was packaged. For China only XX 只限中国地区 Printed in China 118